

## 令和3年度(2021年度)第2回経営戦略会議の概要

議 題	1. コロナ後の市の取組みについて 2. その他意見交換
日 時	令和3年(2021年)10月28日(木)14:00~15:30
場 所	豊中市役所 第一庁舎3階 第二応接室
出席者	市長、副市長、都市経営部長、総務部長、財務部長 経営改革専門委員(生駒委員、長内委員、小谷委員、高橋委員、 野田委員)

### <主な意見>

#### <1. コロナ後の市の取組みについて>

##### 【コロナの影響と今後の見通し】

- ✿ 行政として、感染者の状況等をしっかりと情報管理していくことが求められている。
- ✿ 様々な制限が緩和されつつあるが、産業界はまだ慎重姿勢でいる。
- ✿ コロナをチャンスととらえ、イノベーションを行った企業が生き残っている印象。
- ✿ 観光・移動の面からみると、レジャー需要は戻るが、ビジネス需要は減る見込み。新たなビジネスモデルを作ることが重要。
- ✿ 先の見通しが立ちにくい状況では、意思決定を早くしすぎるのは危険。状況が変わった場合を想定し、様々な選択肢を準備しておくか、リーダーがリスク責任を負うか、どちらかだと考える。
- ✿ コロナの影響でデジタル化が進んでいるが、デジタル技術を使えない人が取り残されないよう配慮が必要。

#### <2. その他意見交換>

##### 【令和4年度予算編成方針、中期財政計画】

- ✿ 予算編成方針の文言について、内容とタイトルの整合性がとれていない。「既存事業の見直し」を「投資」と言うことができるのか。
- ✿ 「個々の事業について説明責任を」とあるが、「事業志向の視点」で、本来の大きな目的を見失ってはいないか。

- ❁ 事業の優先順位を決め、スクラップアンドビルドをもっと進めるべき。今年度コロナの影響で実施できなかった事業は、今後も必要ないのではないか。徹底的に見直していくべきである。

### 【経営戦略方針 2022】

- ❁ 経営戦略方針の重点的取組みについて、「暮らしを便利・快適に」は具体的に打ち出されているが、「子どもたちの未来のために」「コロナを乗り越え、その先に」は、何をめざすのか分かりにくい。
- ❁ 取組み目標について、「実施」という文言が多い。2019 年度にあげた数値目標に比べ、2022 年にどのくらい達成されているか、定量的に評価できる目標をもつべき。（「省エネ設備の普及促進」の目標を ZEH の割合にするなど）
- ❁ 経営戦略方針 2022 は総仕上げの年。2019 年度にあげた数値目標に比べ、現在どこまで達成されているのか、また目標達成のために来年度何に取り組むかを明確にするべき。
- ❁ 「市長ふれあいトーク」は、件数だけでなく、参加者人数を目標にするといい。
- ❁ 新規の取組みについては、分かりやすく打ち出していくべき。
- ❁ 戦略というよりロードマップになっていないか。「何のためにどの量をやるか」見せるために、「時間軸」を入れるべき。長期的なビジョンを持ち、そこにどう向かっていくかを見せるのが戦略。時間軸を示すことで共感性が変わってくる。

### 【産業振興】

- ❁ 企業誘致を積極的に行っていくべき。
- ❁ スタートアップ企業を応援する施策等が必要。大阪大学が豊中にあるという特徴を活かし、「アカデミア」と結び付けた企業誘致も考えられる。
- ❁ 八尾市と東大阪は町工場が多く、互いに連携している。そういった取組みを参考に、商工フェアやものづくりフェアなど、NATS で取組んではどうか。
- ❁ 豊中の魅力は交通の利便性。地価が安くて交通の利便性が良い場所はスタートアップ企業が多い。スタートアップが集まりやすい市になると、人口も増えるのでは。

### 【市の魅力向上】

- ❁ SDGs未来都市として、誰も取り残されないまちづくりをもっと積極的に進めていくべき。
- ❁ 「人の心づくり」は、「まちづくり」にいきってくるのではないか。デジタルとリアルのハイブリットで、心と体の健康づくりを進めていくべき。

### 【広報、メディア】

- ❁ 市長が市の顔となり、テレビなど様々なメディアで積極的に発信していくこと

で、市のポテンシャルが上がる。

- ✿ TikTok など、新しいメディアを積極的に使った「攻めの広報」をすべき。様々な媒体を呼び込み、リーダーの顔が見えることは、都市ブランドの向上につながる。

### 【ダイバーシティの推進】

- ✿ ダイバーシティ推進の有無は、学生の会社選びの一つの基準になっている。
- ✿ ダイバーシティは持続可能性に繋がるもの。全国に先駆けてダイバーシティ施策を打ち出すべき。
- ✿ 障害やジェンダーの表面化しにくい課題解決に向け、行政が合理的な配慮を行うべき。
- ✿ 女性のキャリアアップ推進に向け、予備軍を増やすための取組みが必要。(仮称)南部コラボセンターの施設長に女性や多様な人材を登用する等、シンボリックな体制づくりを期待する。

### 【気候変動】

- ✿ 空港があるまちとして、航空会社とタイアップするなど、「CO<sub>2</sub>削減に向けて積極的に取り組む豊中市」というブランドを先行して出していくのが大切。

### 【人口減に対応した今後の行政サービスのあり方】

- ✿ 防災や環境対策を適切にできている市は、転入数が増加するのではないかと。2人め以降の子どもについては、男性の育児参加にかかっている。
- ✿ 男性の育児参加について。育児、家事のスキルをあげるための講座、トレーニングを行うなど、意識改革サポートの取組みをしてはどうか。
- ✿ 人口を増やすには「働く場があること」「教育」が肝心である。教育は、偏差値だけではなく、「英語」と「デジタル」の二つを徹底的に使いこなせられる人材育成を進めるべき。
- ✿ NATS 等、広域で様々な資産を共有化していくことを検討してはどうか。法律上難しいかもしれないが、いずれの市にもある総務部門等を共通化し、それを別会社にすると固定費が削減できる。
- ✿ 人口を増やしたいなら、外国人が暮らしやすいまちづくりの推進が重要。

### 【デジタル】

- ✿ デジタル化は必要であるが、デジタル技術を必要とする人と、使いこなせる人が一致していないことを認識しておく必要がある。
- ✿ マイナンバーカードの取得率アップに向けた取組みに力を入れるべき。
- ✿ マイナンバーカードを持つことで何が変わるのか、世代によって説明を変えていくべき。